

受験番号 _____ 番 氏名 _____

1. 全日本剣道連盟制定の「剣道修練の心構え」について、次の（ ）内にあてはまる語または文を記入しなさい。
剣道を正しく真剣に学び、心身を錬磨して（ ）を養い、剣道の特性を通じて（ ）、
信義を重んじ（ ）、常に（ ）に努め、以て（ ）を愛して、
広く人類の（ ）に寄与せんとするものである。
2. 「全日本剣連杖道」解説書にある「太刀の構え」6つの名称を答えなさい。
3. 「全日本剣連杖道」解説書にある「繰付」の指導上の留意点について、次の（ ）内にあてはまる語句を記入しなさい。
杖先ほぼ（ ）センチのところで「打」の（ ）をすくう。右足は「打」の右足の線の（ ）に位置
する。頭上の杖の線、両（ ）の線、肘の線、（ ）の線、腰の線、両（ ）の線は、（ ）
となし、ねじれないようにする。杖先は「打」の（ ）とする。繰付けた時、左手は（ ）に、両
足は「打」の方向に進み、「打」の両足と一直線に並ぶ。（ ）を真っ直ぐにし、「打」を注視し、姿勢を崩さない。
4. 「全日本剣連杖道」解説書の「杖道の姿勢」「杖の構え方」の要領について、次の（ ）内にあてはまる語句を記入しな
さい。
○「立杖」 自然体で立ったまま右腕を（ ）に下げ、杖を軽く握り、右手首を（ ）につけ、
杖尾を（ ）の外側約（ ）センチの位置に置いて立てる。
○「提杖」 自然体のまま杖を右手で握り、杖先を（ ）に向け、杖尾を（ ）につけ、
（ ）を右体側につける。
○「常の構え」 自然体のまま右手で杖の（ ）を握り、（ ）に軽くつけ、杖先をほぼ「（ ）」の
高さにし、両足を揃えて立つ。
5. 「全日本剣連杖道」三本目「引提」の「引提げの構え」について、次の（ ）内にあてはまる語句を記入しなさい。
（ ）から右足を退き、杖先を（ ）にし、（ ）に立てて（ ）になり、杖を
（ ）で握ったまま（ ）を見る。杖を握った右手首は、捻りながら（ ）を大腿部に向け、
（ ）の中央と（ ）の線に杖を立てる。左手は（ ）に伸ばし体側につける。
6. 「全日本剣連杖道」七本目「霞」の「霞の構え」について、次の（ ）内にあてはまる語句を記入しなさい。
（ ）から左手で杖先を（ ）に握り、（ ）を退きながら右手を（ ）にとる。「霞の構
え」は原則として（ ）である。左肘は（ ）につけ、左拳は（ ）より少し上とする。（ ）
は横に張らずに落とす。右手は（ ）を曲げず、四指を揃えて伸ばし（ ）に置く。
7. 「全日本剣連杖道」八本目「太刀落」の目的を書きなさい。
8. 「全日本剣連杖道」九本目「雷打」の目的を書きなさい。
9. 「全日本剣連杖道」解説書の「杖道の指導精神」を書きなさい。
10. 「全日本剣連杖道」解説書の「杖道を学ぶ目的とその効果」を書きなさい。